夕刊 磐城新聞
五月四日發行
定價 一ヶ月金六十五錢（郵稅拾五錢）
廣告料金 普通欄一行金六拾錢 雜報欄一行金九拾錢（五號十二字詰一行）（場所指定一行壹圓也）
編輯印刷發行人 柏木 [illegible]
福島縣石城郡平町 [illegible] 町十六番地
發行所 磐城新聞 合名會社
[illegible]（タイラノワ[illegible]）平局私書函第十二號 電話五六四番
〔日曜祭日翌日休刊〕

一茶の療病法（上）

吉田文俊

俳人一茶は旅に出ては、よく刀根川べりの俳友などを訪ねて遊歷して廻つたが、その折の配りものかと思はれる〻帳面の半紙五十五六枚ばかり綴合せたもの〻卷首に一茶自撰の療病法が流麗なる俳文のはしがきで載せられてある

文は木版におこした一枚刷のものであるが、それには素人の療法が七八種あげられてをる。そして別に俳友仲間の句も書き添ねてあるが、いかにも一茶らしい素朴のうちにも風雅な思ひつきである

その刷物の文や句は、すべて墨刷であるが、周圍のわくは草色の色刷で輪廓をつけた品の好い香り高いものである

一茶はこの一枚刷のものに半紙を綴ぢ合せて一冊の帳面に仕立て俳友や門弟仲間に配つたものらしく、彼れが最も親しい間柄であつた信州六川の知洞、大直、湯田中の希杖、紫の春耕、下總龜橋の斗囿、同じ下總では布川の月船、南總卽ち上總の國では金谷の砂明富津の德阿、子盛、木更津の雨十などの句と名とが見えてをる

私が、この連名の中でことに心ひかる〻のは大刀根河畔に住んでゐた下總布川の月船であるが、それは一茶が諸國放浪時代の文化年中に作つた七番日記を見ても知らるゝとほりで、一茶の數多い俳友の中でも一茶のために最もよき後援者であり、扶持者であつたのは實にこの月船がその第一人者なるが故である

一茶の株番日記も、この布川に月船を訪ねた或る時からその編著にとりかゝつてゐて、こゝに發端をなしてをるほどで月船は實に一茶研究の上に大切なる人であるばかりでなく郷土俳諧文學敎化の第一人者でありその多大の感化を受けた數多いもの〻中に、著名なる歌人の澤近嶺の如きを出してをることは、世人に未だ少しも知られてゐないが、決して忘れてならない人物である

この一茶の療病法も、それら月船、一茶など〻親交があつて深い關係のあつた澤近嶺の筆錄本、雜記帳の卷頭に綴込んであるのを最も近になつて私が千葉縣旅行中に始めて見付け出したものである。この文獻は最早や今日他には存してゐない貴重なる史料であるかも知れない

斯う思ひついたので、私は文藝科學などの研究者のためにもと特にこの稿をかいてみた次第である

澤近嶺雜記を見るに二冊になつてをりその內の一冊の卷頭には、一茶の序文で一茶自撰の素人療病法が次のやうに木版刷で掲載されてゐたのである

春信（1）

島田忠夫

市原里川國手に寄せて

○つぶらなる里川國手の面（おも）見ずて四月（よつき）あまりとなりにたらずや

○折ふしは君がたまへる川柳にをかしがれどもいや遙なり

○世のさまを時に嘆かひて聲擧ぐる君がくれなゐの怒り顔見ゆ

○貧しくてわが君に受けにしこと思へばとてもかくても忝しも

○久しくも便り書かねど健けく防音研究にわが就きてあり

○吾が恩師外遊の時ちかづきて忙しく過すわれと思ひ給ひね

しらうを

菜の花のまぶしきまでに光りけり　蜻蛉

菜の花の畠を前に住みにけり

牛啼くや深き谷間の畑打てる

春風や鳩の群れ居る倉庫前　子觀

凧うなり榎木の上にあがりけり

髙々と大凧一つ離れ居り

萬葉集に現れた 基山と大伴旅人（二）

香月秀雄

これは山名基山より名付け後延音「い」を附したことは疑を容れない。國名を肥前國基肆郡と云ふのも亦山名からきてゐることは肥前風土記にも明白である—に登り次の弔歌を贈つてゐる。（以下掲げるものは全て萬葉集にあるものである）

式部大輔石上堅魚朝臣歌一首

霍公鳥　來鳴令響　宇之花能　共也來之登　問麻思物乎

郭公　來鳴きとよもす卯の花の　共にや來しと問はましものを

旅人は之に和えて

太宰帥大伴卿和歌一首

橘之　花散里之　霍公鳥　片戀爲乍　鳴日四會多寸

橘の　花散る里の　郭公　片戀しつゝ鳴く日しぞ多き（以上二首卷第八夏雜歌）

と詠んでゐるが、流石深い哀切の心持に同情されるではないか

天平二年正月十三日には太宰府の官人一同は長官旅人卿の宅に集り梅花の宴を開いて歡を盡した。この時の梅花の歌が三十二首收めてあるがその中で大監大伴氏百代は

烏梅能波奈　知良久波伊豆久　志可須我爾　許能紀能夜麻爾　由企波布理都都

梅の花　散らくは何處　しかすがに　この城の山に　雪は降りつつ（卷第五雜歌）

と詠んでゐる

天平二年十月一日旅人は大納言に任せられ多年はげしく望んでゐた、京都へ上ることになつた。そこで妹の坂上郞女は都に殘した幼少な二人の娘を思つて兄に先立ち十一月太宰府を去ることになつた

旅人も十一月には亡き妻の面影を抱きながら歸京の途に就いた。彼が去つてからの太宰府はどんなに淋しくなつた事だらう・官人を始め、凡ての人が皆彼を思慕してゐる。筑後守葛井連大成の如きは

太宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井連大成悲歎作歌一首

從今者　城山道者　不樂牟　吾將通常　念之物乎

今よりは　城の山道は　淋しけむ　我が通はむと　思ひしものを（卷第四相聞）

と詠んでゐる

旅人は筑紫に七年ゐたが歸京の翌年秋七月病で薨去した　（完）

5月5日

〔社會の今日〕

△始めて武德殿成り嵯峨天皇騎射を天覽あらせらる（弘仁九）△ナポレオン一世薨ず（一、八二一）△上海停戰會議調印式終了（昭和七）△皇后陛下の行啓を仰ぎ日本赤十字社第四十一回通常總會開會、有難き令旨を賜ふ　△皇后陛下の行啓を仰ぎ愛國婦人會第三十一回總會を開催、有難き令旨を賜ふ（同八）

○

霧雨のこまかにか〻る猫柳、つく〴〵見れば春たけにけり　北原白秋

菖蒲湯に肥えたる吾子の肌白し　赤人子

講談 浪人長屋 (78)

日岐武志作　月草道子畫

男にすがる

やうやく、ながい夏の日も暮れおちて掘割の向ふ岸に軒燈がきいろく灯つた

豆腐屋や蜆賣りの呼び聲が裏長屋の路地路地にわびしくきこえる

『どうしたことなんでせう！あの片目の男はいまだに戻らぬが』

うす暗くなつてきた部屋にお園と吉三はぽつねんと坐つてゐた

『今朝の話では、夕方には勘兵衛さんも戻るとのことでしたが』

と、吉三もたよりなげに

『遊び人らしいやうすだつたからそこらへ、つつかゝつてゐるかも知れませぬ』

夕闇とともに、たよりなさ、さみしさが、やうやく二人の胸に迫つてきた

『とにかく、晩飯のしんぱいをします。お園さまもお腹がすいたでござんせう』

お園がだまつてほゝゑんだのをみて

『では、その邊の仕出し屋かなんかへたのんでまゐります』

といつて吉三が立上ると

お園は

『すぐ戻つてきて下さいな』

と、すがるやうにいつた

『すぐ戻ります』

吉三は眼で笑つて出て行つた

お園は部屋の隅にあつた紙燈を持ち出して、火打ちをしてともした。煤けた紙燈のにぶい光りが破れ疊を照らしだした

お園は紙燈の面に、ぽつねんと坐ると、さみしさがひたひたと胸に迫つてきた

ぶーんとわびしい音をたて〻蚊が耳元をすぎて行くと頻に日本橋のわが家のことがなつかしく、ちらちらと目先に浮んできた

『あゝ、おぢいさま、おばあさまお園は、お園は、なんといふ、不孝ものでございませう。お園ははじめておぢいさまおばあさまのあたゝかさが、わかりましたしみじみ、あたゝかさが胸に湧いてきます、おぢいさまおばあさま、あゝ……』

急に、胸に、あついせつなさがいつぱい込みあげてきた

お園はよゝと泣き伏したかんざしが、きらきらとつめたく光つてゆれた。紙燈の油がぢゝッと、にぶい音をたてた

表に足音がした。吉三だつた。その後から岡持をさげた小僧

お園はあわてゝ涙をぬぐつて顔をあけた

『ごくらうさま』

小僧をかへして、吉三は、どんぶりを二つ兩手に、お園の前へはこんできた

『さア、お上りなされ』

どんぶりの蓋をとり、お園の前へ箸もそへて出した

そんなにしてくれる男のこゝろがお園にはありがたくて、また胸がつまつた

『すみませぬ』

と、箸をとつたが、急にわッと聲をあげて男の膝に泣きくづれた

『吉三さんッ』

と、今はしんけんに、この男だけをたよりにと思ふこゝろで叫んだ

『大丈夫でござります。安心なされてくだされ。吉三は決しておろそかにはいたしませぬ。安心してわしの胸にすがつてくだされ、どこまでも、どこまでも』

吉三は膝の上にしッかとお園をだきかゝへていつた

『お前を頼りに思ひます』

『よーくわかります。お園さまのたよりなさがさみしさが吉三の胸にはしみる樣にわかりまする』

ガラリと表の戸が開いた

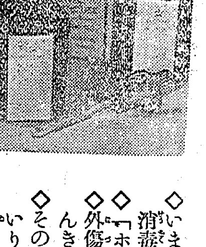
片目の男、甚吉が戻つて來たのだ、片方だけの眼でちろりと一瞬凄く光つた

二人はあわてゝ身を離した

★「ホシ」の新發賣

クスリはホシ

ホシマークロ



怪我・皮膚病の最新藥
ヨヂウム丁幾・過酸化水素水の時代は去つた！

◇いま、アメリカにては、一戸毎に必ず常備されると云ふ殺菌消毒劑です。
◇「ホシ」の研究室が、甦生の第一聲として世に贈るもの。
◇外傷・腫物・濕疹・膿疱疹・蕁麻疹・乾癬・はたけ・たむし・いんきん・みづむし・しらくも・皮膚瘙痒症。
◇その外なんでも、一寸塗つて置けばい〻のです。繃帶も何もいりません。
◇塗ればい〻のです。簡單に、たゞ塗つて置けばい〻のです。

脚氣のシーズン・！
然し、安んぜよ。脚氣の最新藥の「ホシB・G」が發賣せられた

ヴイタミンB劑
ホシ B・G（ビージー）

商標權問題に就き謹告

一、三月十九日大審院に於ける本社對大阪製藥所の商標權使用製造販賣禁止假處分事件は、控訴院に差戾され再審理にかけらる〻ことゝなりました。
二、本社と大阪製藥所との間に於ける商標權問題は
東京地方裁判所に
（一）商標權移轉登錄抹消（本社提起）
（二）三百萬圓の損害要求（本社提起、芝敗訴）
東京控訴院に
（一）商標權移轉禁止、處分禁止假處分（本社勝訴）
（二）[illegible]中止、製造販賣[illegible]（芝提起、[illegible]中止執行不能）
[illegible]事件となつて居る[illegible]ありまして、今回大審院より控[illegible]された[illegible]は、[illegible]の手によつて[illegible]控訴院にて勝訴となつたもので、大審院の判決により事件は再び控訴院に戾つた譯であります。
三、神のものは神に。「ホシ胃腸藥」は「ホシ」に。
之は絕對のことであります、
本社の[illegible]欲に樣々の支障の起りますことは、要するに破産問題中の官僚負け、本社に不利なる管理人の爲めの主張負けに原因するもので、內容は簡單明瞭疑ふ余地はないのであります。
恐らく大阪製藥所は一流の宣傳力を以て大審院の判決、差戾しを自家の勝利と吹聽することでありませうが、需要者各位、販賣店各位には、迷はさる〻となく本社の「誠」を御信賴下さるやう御願致します。

——東京・五反田 星製藥株式會社——

平町三丁目三〇
ホシチエンストアー平支部
ホシ藥舗
電話四二九番

廣告

技術本位
安心して御依賴下さい
時計修理
（小店員募集）
平才槌小路
髙橋時計店

平町六丁目
木村醫院
電話三〇九番

平町南町
增田耳鼻咽喉醫院
電話四八二番

外科 全般 內科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
入院應需
渡部外科
平町田町大通り（電話二七七）

平ゆべし 一折金十錢
高梁餅（タカラモチ） 一折金十錢
（日滿提携新菓）
賣始めました。
田町 日進堂 電一八六

石炭の「重要産業指定後に 必然起る聯合會改組
常磐でも成行きを注視

商工省は既報の如く石炭を重要産業統制法の指定産業となす事に內定したが統制範圍如何によつては石炭鑛業聯合會の現在の組織は根本的改造が必要となるので八日理事會を開いて協議する事となつた即ち聯合會の現在の組織は聯合會加盟員は地方鑛業會乃至鑛業組合を單位としてゐるが地方鑛業會並に組合には群小鑛業會社も含まれてをり實際問題として統制法は斯樣な群小會社までに適用する事は不可能である從つて聯合會は（一）地方鑛業會組合から群小會社を分離した會並に組合を單位として組織するか又は（二）會社單位の組織に改造する事が必要となるが（一）は實行極めて困難であり（二）は炭界統制上議決權が多數の群小會社に關すれば群小會社の意向に全然支配され統制の實擧がらざる結果に陥る事となるのでこの矛盾に當業者は全く妙なヂレンマに陥つてをるが此際統制機關を單一とし販賣統制機關たる昭和石炭に生産統制機關たる聯合會を合併させるべきであるとの說もある

程で如何に改造されるか地方にも少からぬ千繋を有する問題なので大いに注目されて居る

矢車の旋回快く 晴空に高鳴る
大小の鯉幟で滿艦飾趣向 あす第二の端午奉祝

平第二校では既報の如く皇太子殿下御降誕記念事業の一として郡下一を誇る大鯉幟を作製、去る一日から皐月の晴空に跳らしてゐるが明五日は新皇子最初の端午なので朝會の際に國旗掲揚、宮城遙拜、校長訓話奉祝歌合唱の順序で奉祝式を行ひ、兒童父兄から借り受けた大小各種鯉幟を以て校庭大鯉幟掲揚個所に滿艦飾の風景を現出せしめ衷心から奉祝の赤誠を表する擬定であると、尙平町仲間町大井勇氏はこの大鯉幟に矢車一個を寄附した

平常の心掛けで 見學に間誤つかぬ
小學校で旅行貯金奬勵

平町各小學校では來月上旬來春卒業兒童の修學旅行を行ふを機とし今四日來學年旅行する現五年生保護者に旅行積立金の規定を配布してその便利を周知せしむる事になつたが右は每月第二第四の水曜日に月三十錢宛一ヶ年（八月を除く）を各學級擔任が取り纏め受領證を發行した上これを郵便貯金とするもので利子金も附き別段の苦痛も無く旅行出來るわけで隨添ひ亦多人數なる丈け經費を遞減さるる利益あり成る可く多數參加されたいと

本省の首腦技術官 郡下各漁港視察
下田、橘兩權威明五日來郡

農林省水產局『南方漁場調查に關する事務に從事する臨時職員』技師（勅待）下田杢一氏及嚢に來郡した事のある同上『漁港修築の奬勵に關する事務に從事する臨時職員』技師橘英三郎氏は明五日來郡、四倉、豐間、中の作、小名濱の各漁港を視察するが斯く本省の首腦技術官が相携へての視察調查は頗る重大な意義を含めるものと看取さる

兩技師視察

夏井川改修工事附帶事業として九

平商業學校 列車通學生

平商校最近の調査に依る汽車通學生は左記の如く百四十名で全校生四百四十二名の三割强である

湯本三三 綴一八 泉一六 草野、植田一三 四倉一一 關本九 勿來七 小川郷六 久の濱四 高萩、廣野三 磯原二 赤井、富岡一

商業教育協議

第十四回縣下業商教育協議會は來る二十一日午前十時から須賀川商業校で開催されるが協議題左の如く、平第一第二兩校長出席すると

高等小學校に於ける商業科設備の標準如何

春繭掃立一割減か
氣候不順で前途悲觀さる

地方の春繭掃立ては氣候不順の影響を受け昨年より約一週間遅れて來る十二日頃の小川方部を皮切りに二十日前後が最盛季と觀られて居るが蠶業取締平支所でも今期掃立高は昨年の三十七萬六千グラムより約一割減の三十三萬乃至三十四萬グラムの減收を見越し目下所員を督勵手加減中であると

郡農會自肥奬勵

郡農會では自給肥料奬勵の爲管內各町村に『更生は肥料の自給より』作れ綠肥積め堆肥』と染め拔いた手拭二千本を配布する事になつた

郡下小學校長總集會
新任古川縣視學を迎へ 昨日平第一校講堂で開催

郡下小學校長總集會は昨三日午前九時から平第一校講堂で新任縣視學古川佐壽馬氏臨席の下に郡下五十五校長出席開催、協議事項に就いて協議、縣視學の訓辭あつて午後二時盛會裡に閉會した

郡教育部會總集會

教育部會總集會は來十三日の處都合により來月上旬に延期、前東京教育局長湯本町出身の藤井利譽氏の講演を行ふ豫定であり尙ほ夏季講習會は八月二十七、八、九の三日間平第一校に開催、科目は綴方、講師には千葉縣東金校訓導栗原昇氏の豫定、國際協會加入の件は加入に決した

苦學力行 遞練へ合格
平局の坂本房芳君

一昨二日發表された遞信官吏練習所合格者中斷然光彩を放つて居る一人に平局電信事務員坂本房芳（二三）君がある、同君は双葉郡龍田小學校卒業遞信講習所に入つただけでさしたる學歷もなく全然苦學力行で中學卒業生にさへ最大難關とされて居る同所へパスしたものであり同局に六年間勤續して居る實直な青年であると

北海道周遊
鐵道で團體募集

增收又增收で氣を好くして居る鐵道當局では各方面への遊覽團体を募集して大いに成績を擧げて居るが今度は水戶運輸事務所、驛長主催北海道周遊團体を管內各驛で募集中である

七月十七日出發、二十七日歸着、人員四百名、函館―五稜廓―湯の川―根崎溫泉―小樽―札幌―定山溪溫泉―狩勝峠―釧路―弟子屈―湯川溫泉―屈斜路湖畔―旭川―白老アイヌ部落―登別溫泉―室蘭―洞爺湖溫泉―大沼公園豫定、費用概算五十五圓拾六錢

難道開鑿の恩人 小林所長記念碑建立
澤渡村有志が奔走

澤渡、永戶兩村間黃金淵地內の難道路開鑿工事（工費三千圓、延長二十餘間、幅員二間）の外

工費二千餘圓の箕輪村大利坂及び平―三坂線十二ヶ所の道路改修工事は昭和六年所謂緊縮內閣時代に於て何れも竣功を見たものだが當時は緊縮々々の叫びによつて有望視されたる諸工事も取止めとなつたにも拘らずこれら諸工事の完成を見たのは一に小林土木監督所長の奔走によるものであると平沼澤渡消防組頭外有志一同は今回地元民より寄附金を醵出、前記黃金淵地內に同氏の記念碑を建立する事になり目下工を急いで居り竣功後には盛大な除幕式を擧行する事になつたと

平局員昇格
九名が月給に

既報の如く平局では下級吏員優遇法として十年以上勤

若草の雲雀ヶ原に 天狗連の腕較べ
常勝射手杉山氏其他參加

縣獵友會及同原町支部主催の第二回獵友會總會は明五日午前九時から同射擊大會は五、六の兩日何れも原町雲雀ヶ原常設射擊場に於て開催されるが一等（計二百圓）から三十等（計四圓）迄の大賞品を陳べた大會で參加豫定約百五十名、本郡支部よりは常勝の名手杉山今朝吉氏をはじめ馬目太平次、佐藤留造、渡邊貫一、横山謙、大槻氏外數氏が出席すると

教練中怒る
あすの運動會を前に磐中の小もつれ

磐中の創立記念運動會は季節柄運動方面の晴れやかな年中行事として各方面の人氣を呼んでゐるが今年も一層の精彩を發揮すべく學校當局では過般來之れが豫習に努め昨四日放課後も掉尾の練習を行つたが三四年の隊行見學中であつた五年生平町裡田町諸狩一元（一八）君が他の同級生と異り一人座を崩した處から大井川配屬將校が憤激し嚴格なる懲戒を加へた結果一二父兄の話題に上つたが當人の父君が重厚にして事を好まぬ町議猪狩觀德氏であり、大井川中佐の措置が指導上誠意の逆りであつた事が判明次第先年の不祥を繰り返す樣な事は萬あるまいと觀られてゐる

虛空藏祭典の餘興に 古典的な獅子舞踊り
明五日夜神谷村塩で

神谷村鹽の虛空藏神社春季祭典は明五日より二日間に亘つて執行されるが花火、其他餘興の外明代は同社獨特の獅子舞踊りがあり賑ひを豫想されて居る

朝顔種播き
來十日頃が適當 入山で大會計劃

種播きの目やすとなつてゐる一昨二日の八十八夜も過ぎたので地方でも夫々準備に取りかゝつたが入山炭鑛從業員の園藝部でも例年の如く朝顔品評會を來る八月一日より十日間に亘つて開催すべく目下部員相互で培養の方法を研究中であるが播種期は來る十日より二十日迄が最も適當であらうと

衰殘を喘ぎつゝ 廓よ何處へ行く
鎌田五色町の今昔譚

面壁九年の難行苦行は蓋し內面的の惱み、うち見た處煌々たる電燈の下にヅラリと一列橫隊に座つた世にも絢爛たるウチカケ姿は、若し夫れ誇張の形容を以てすれば、些か物語めく嫌はあるが、更に頽廃爛熟の現實を美化し過ぎぬではないが、茲一番大まけにまけて『天女の集ひ』之を見るもの恍として羽化登仙、謂ふ所のエクスタシーの氣分となつて可惜男兒の鐵腸は脆くも分解作用を始める―

三平二福を蹈晦する白粉と、夜着の袖口を、下り目尻を。海棠の居に、芙蓉の眦にカムフラージする丹朱の技巧。さては琥珀色の美酒に、近松張りの桃色情話に、行き詰つた蒼白な悔恨の色に、等、等、等。地上の一切の色をカクテルした五色町華やかなりし頃こそ、今は既に追憶のたね。昔を今になすよしもがなの歎無きを得ない

廓內六軒娼妓二十六名、この物寂しい統計（？）こそ目遊步鎌田の現在ではある。然らば近來の所謂非常時は驅つて以て意馬に跨つて醉國に遊び心猿に曳かれて柔鄕に入るの士を根本から奪ひ去つた爲か、ノーノーその觀察の極めて哲學を欠いて居る事は現在の女給進出南町に遜爾たる街の令孃の跋扈跳梁に徵して最も明瞭に證據立てられてるでは無いか

需要者が減退せぬ以上、之を他方面に奪はるるは營業方針に非現代的な點あるが主因と斷ずべきである。世界の文明國中公娼制度を許して居るのは唯我國丈けで、それが決して名譽な存在で無い事はわかり切つてゐるがさりとて之れが衰滅は逝く春に當面する樣な淡い寂しさが無いでも無い、何とか盛り返すすべは無いものかしら、遊廓よ何處へ行く！

御親閲記念事業

四月三日を敎育記念日として敎員會を開き勅語及び敎育者に御下賜の勅語の奉讀式宮城遙拜等で敎員の修養團結を强調、光榮の感激を記念して御趣旨に副ふ事を誓ひ又勅語及び御親閲當日の寫眞を各校敎員室に揭げる

入山校兒童 山神社清掃

入山小學校では過般の山神社遷座祭を記念し敬神崇祖、奉仕作業精神涵養に資するため一週一

府立一中旅行隊

東京府立第一中學修學旅行團約二百名は昨三日夕刻仙台から湯本驛着一泊今四日同町附近を見學水戶市へ向つた

賭博に懲役
十三名中の二常習

內郷村大字宮字竹の內七三坑夫渡邊秀勝（三四）同字金坂七六無職安島瀧藏（四五）外十一名が去月二十五日夜大字宮字町田八五武井マス方で賭博をなした事件は他の十一名は嚢に略式で處分されたが渡邊は賭博開帳、安島は常習賭博で昨三日午後一時から平區で中島判事、清田檢事係りで公判開廷求刑通り渡邊は五月、安島は三月の懲役を言渡された

本郡教育是

縣教育是に準據し左の如く制定した

一、研究修養に努力 二、精神教育に同上 三、教授の徹底 四、体育向上 五、職業指導 六、小學校をして地方教化の中心たらしむべし 七、教育設備の充實

本年度教育行事

六月―上旬春季教育部會總集會、縣下小學校長協議會、縣教育會總會、郡下小學校教員會 七月―卅日敎員野球大會 八月―廿七、八、九日夏季講習會、三十日庭球大會中旬中堅青年講習會 九月―廿九日實業教育振興會 十月―廿七日郡唱歌會、十四日第三區兒童競技會（雨天の際は二十一日） 十一月―四日秋季教育部會總集會、十八日ドッヂボール大會、東部聯合教育會 十二月―上旬郡下青訓聯合會、二日敎員籠球大會 一月―下旬郡下女敎員會、敎務主任會 二月―中旬郡內小學校長協議會、下旬女子青年團總集會

福島炭鑛山神祭

明五日より二日間に亘り執行するが餘興活動寫眞、芝居、角力

種痘と口腔檢査

第一小學校では五日、第二校では七日、何れも第二期種痘を行ひ尙は來る十日には第一校兒童の口腔檢診を行ふ

第三校衞生打合

第三小學校では本日午後三時より兒童衞生研究打合會を開く

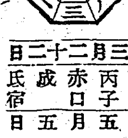
ヂフ

夏井村大字菅波字新屋敷二〇一男次女根本ミネ子（四）は昨三日ヂフテリアと決定した

斷水

平町立町、五丁目間愛谷江筋配水管伏越工事の爲左記個所は今四日午後九時半より明朝四時迄斷水する

五丁目及大工町の一部、六丁目、正月町、禰宜町、手掴、鎌田、五色町、下川原



新五月五日 土曜 丙子 赤口 成 氐宿 舊三月二十二日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神讚館

▲一白の人 平運の日着々として倦まざれば業積向上す▲二黑の人 萬事愼重に處理すれば希望漸次に通達せん▲三碧の人 たんせいに陷りたる如く自由を失ひ窮乏すべし▲四綠の人 事業失敗に歸し立つ事困難なるべき衰運日▲五黃の人 困難は伴ふも努力次第にて窮境を脫し得ん▲六白の人 一轉機を來すべき日定業に出精し迷ふ勿れ▲七赤の人 取越苦勞のみ起りて却て幸運を取逃すべし▲八白の人 物事捗り難しとて焦る可らず追々に良轉す▲九紫の人 進退共に手心を加ふれば失敗を防ぎ得べし

五日
日出 四、四六 月出 九、四一
日沒 六、三〇 月沒前
滿潮 前七、五〇 後一一、二〇 干潮 前二、二五 後三、二五

開業

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、歯槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

新車御披露
乘心地のよい三四年式デラックスセダンが入車致しました
貸切の御用命の際は是非電話六八五番へ御試乘の程願ます。
平町貳丁目 三井タクシー 電話六八五番

吸入用酸素 純度99%
モノサシ マス ハカリ
体溫器 寒暖計
◎秤ノ取緒・垂糸・修繕掛替致シマス
開內藥局 電話四〇番

魂の這入つた 自轉車
フタバ式リヤカー發賣元 フタバ商會 平・新川町・月見橋際